

科目番号: 60

分野	専門分野(老年看護学)				
科目名(必修)	老年看護学概論				
単位数(時間)	1単位(30時間)	対象学年	1年次	担当講師	実務経験
					看護師
講義回数	15回	開講時期	後期		
テキスト 系統看護学講座 専門分野 老年看護学(医学書院) 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論(医学書院) 厚生指標 増刊 国民衛生の動向(厚生労働統計協会)					
<b>目的</b> 高齢社会における老年期の身体的、精神的、社会的特徴を理解し、対象への看護活動のあり方について学ぶ。					
<b>目標</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者の身体的、精神的、社会的特徴を理解できる。</li> <li>2. 高齢者とその家族の現状および支援について理解できる。</li> <li>3. 高齢者の人権を尊重し、尊厳を守る大切さを理解できる。</li> <li>4. 高齢者とその家族にとっての「死」について考えを深めることができる。</li> <li>5. 社会構造の変化における高齢者の保健医療福祉の現状と課題が理解できる。</li> </ol>					
<b>授業計画・授業内容</b>					
回	授業内容				授業方法
1	老いとは、老年期の概念、発達課題(ハヴィガースト、エイジング)				講義
2	インスタントシニアを用いての高齢者体験				演習
3	加齢に伴う身体的変化				講義
4	加齢に伴う身体的変化				講義
5	加齢に伴う心理・社会的変化、高齢者の性				講義
6	高齢者と家族				講義
7	高齢者の権利擁護、制度				講義
8	高齢者の虐待、身体拘束				講義・演習
9	高齢者にとっての死、エンド・オブ・ライフケア				講義
10	高齢社会における保健医療福祉の動向				講義
11	高齢者に関わる医療保健制度				講義
12	介護保険、地域包括ケア				講義
13	高齢者に関するトピックス				演習
14	高齢者に関わるトピックス(発表)				演習
15	試験・まとめ				講義
<b>評価方法・評価基準</b> 課題学習20%・筆記試験80%とし、100点中60点以上を合格とする。					
<b>その他</b>					

科目番号: 61

分野	専門分野(老年看護学)				
科目名(必修)	高齢者の日常生活を支える看護				
単位数(時間)	1単位(30時間)	対象学年	2年次	担当講師	実務経験
					看護師
講義回数	15回	開講時期	前期		認定看護師
					認定看護師
テキスト					
系統看護学講座 専門分野 老年看護学(医学書院)					
系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論(医学書院)					
目的					
<p>老年看護の対象である高齢者を発達過程の視点から理解し、高齢者への日常生活援助の意義とその方法を理解する。老年期の特有な障害及び症状をもつ高齢者とその家族に対する看護について学ぶ。</p>					
目標					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者への援助の基本的考え方と日常生活援助の意義・方法が理解できる。</li> <li>2. 高齢者総合機能評価(CGA)をはじめとした、高齢者のアセスメントの意義が理解できる。</li> <li>3. 高齢者の代表的な障害および症状の発生機序と要因、生活への影響、看護について理解できる。</li> </ol>					
授業計画・授業内容					
回	授業内容				授業方法
1	老年看護の目標、高齢者への援助の基本的考え方				講義
2	老年期患者の特徴・アセスメントの視点				講義
3	高齢者に特有な障害及び症状と看護(フレイル、ロコモティブシンドローム)				講義
4	高齢者に特有な障害及び症状と看護(認知症)				講義
5	高齢者に特有な障害及び症状と看護(認知症)				講義
6	高齢者に特有な障害及び症状と看護(認知症)				講義
7	高齢者に特有な障害及び症状と看護(うつ、せん妄、睡眠障害)				講義
8	高齢者に特有な障害及び症状と看護(摂食・嚥下障害)				講義
9	高齢者に特有な障害及び症状と看護(摂食・嚥下障害)				講義・演習
10	高齢者に特有な障害及び症状と看護(排泄障害)				講義
11	高齢者に特有な障害及び症状と看護(褥瘡)				講義
12	高齢者に特有な障害及び症状と看護(褥瘡)				講義・演習
13	高齢者に特有な障害及び症状と看護(脱水・熱中症、かゆみ、パーキンソン症候群)				講義
14	高齢者の事故、高齢者と災害				講義
15	試験・まとめ				講義
評価方法・評価基準					
筆記試験100%とし、100点中60点以上を合格とする。					
その他					

科目番号: 62

分野	専門分野(老年看護学)				
科目名(必修)	治療を受ける高齢者を支える看護				
単位数(時間)	1単位(15時間)	対象学年	2年次	担当講師	実務経験
					看護師
講義回数	8回	開講時期	前期		認定看護師
テキスト 系統看護学講座 専門分野 老年看護学(医学書院) 専門分野 老年看護 病態・疾患論(医学書院) 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論(医学書院) リンダJ. カルペニート編著 黒江ゆり子監訳 看護診断ハンドブック 第11版(医学書院)					
<b>目的</b> 治療を必要とする高齢者に必要な看護について学ぶ。加齢変化、疾病により生じた諸問題から、高齢者の特徴をふまえた急性期の看護について学ぶ。					
<b>目標</b> 1. 治療・検査を受ける高齢者の特徴と必要な看護を理解できる。 2. 緊急入院をして手術を受ける老年期患者の看護を理解できる。					
<b>授業計画・授業内容</b>					
回	授業内容				授業方法
1	外来受診・検査を受ける高齢者の看護				講義
2	薬物療法を受ける高齢者の看護				講義
3	入院治療・リハビリテーションを受ける高齢者の看護				講義
4	手術療法を受ける高齢者の術前・術後の看護				講義
5	緊急手術を受ける高齢者のアセスメント(事例:大腿骨頸部骨折)				演習
6	緊急手術を受ける高齢者のアセスメント・看護診断・看護目標				演習
7	アセスメント・看護診断名・看護目標発表会、退院に向けた支援				講義
8	小テスト・まとめ				講義
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
<b>評価方法・評価基準</b> 課題提出内容、発表内容、参加度、出席時間を総合的に評価したものを70%、小テスト30%とし、100点中60点以上を合格とする。					
<b>その他</b>					

科目番号: 63

分野	専門分野(老年看護学)				
科目名(必修)	老年期にある人の看護過程				
単位数(時間)	1単位(15時間)	対象学年	2年次	担当講師	実務経験
					看護師
講義回数	8回	開講時期	後期		
テキスト 系統看護学講座 専門分野 老年看護学(医学書院) 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論(医学書院) リンダJ. カルペニート編著 黒江ゆり子監訳 看護診断ハンドブック 第11版(医学書院)					
<b>目的</b> 老年期に多くみられる代表的な疾患の事例を用いて看護過程を展開する力を養う。					
<b>目標</b> 1. 老年期患者の特徴をふまえた看護展開が理解できる。 2. 事例を通して健康障害をもつ老年期患者を統合的に理解できる。					
<b>授業計画・授業内容</b>					
回	授業内容				授業方法
1	老年の看護過程の展開について(事例:誤嚥性肺炎)				講義
2	関連図、アセスメント				講義・演習
3	アセスメント、看護診断				演習
4	アセスメント・看護診断発表				演習
5	看護診断、看護目標、看護計画				演習
6	看護計画				演習
7	看護計画				演習
8	看護計画発表会				講義・演習
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
<b>評価方法・評価基準</b>					
課題学習提出内容、発表内容、出席態度、出席時間を総合的に評価したものを100%とし、100点中60点以上を合格とする。					
<b>その他</b>					